

2025（令和7）年度事業報告

法人の名称 特定非営利活動法人アンガージュマン・よこすか

自 2025（令7）年4月1日 至 2026（令8）年3月31日

1 事業活動・成果報告

一年を通じ不登校の子ども及びひきこもりの若者支援の事業に取り組んだ。子どもたちや若者たちに寄り添い、社会参加するきっかけを作るための場と機会の提供を行った。居場所、学習支援を卒業した子どもや若者にとっても安心して過ごし相談できる場となっている。

学習支援事業は横須賀市生活福祉課より「学習支援事業」「学習支援・居場所づくり支援事業」を委託されて実施した。高校生・高校中退者・中卒生・中学生・小学生が利用した。

相談事業は神奈川県立青少年センター「フリースペース等相談事業費補助金」を活用して実施した。今年度より神奈川県立青少年センターから地域青少年相談窓口事業（葉山）を受託し、葉山町教育研究所内においてひきこもりの相談を実施した。

居場所の提供事業は神奈川県生活援護課「生活困窮者支援団体応援支援金」を子どもたちへの飲食料の購入に活用した。また、神奈川県生活援護課と特定非営利活動法人神奈川こども未来ファンドが協働して実施している「かながわつばさプロジェクト（生活困窮者等若者巣立ち応援事業）」から当団体が指定を受け、大学・専門学校へ進学・就職する子どもと若者5名に対して、受験料・就職準備金を補助した。神奈川県教育委員会子ども教育支援課「子どもの居場所づくり推進委託事業」「学校との連携強化推進委託事業」を子どもたちに関わるスタッフの人件費の一部に活用した。神奈川県青少年課「ひきこもり等支援団体支援事業支援金」を活用し、運営資金に充当した。日本フィランソロピック財団「臼井伸二未来へつなぐ基金」を活用し、居場所を利用するヤングケアラーである子どもたちと若者たちに寄り添う活動資金に充当した。横須賀市生活支援課「フリースクール学習支援事業」を活用し1名の子どもの利用料に充当した。県内10団体と協働し神奈川県教育委員会子ども教育支援課「不登校等の児童・生徒支援に係るメタバース運営等業務委託」を実施した。

42の個人・団体から総額4,601,366円の金銭等の寄附を頂いた。100の個人・団体から197件物品の寄附を頂いた。また、65の個人・団体が会員になり当法人を支えた。

2 各事業報告

（1）学校外で育つ子ども達及び孤立する若者への居場所の提供

・内容

学校外で育つ子ども達及びひきこもりの若者の居場所づくりを進めるフリースペース事業を行った。

フリースペースでゆっくり過ごす日常の活動に加え、ギター、ゲーム等を行った。課外活動では散歩等を行った。

一人ひとりに寄り添った支援を行い、社会参加（学校復帰や進学）を志す利用者が複数名いた。

・日時 通年

・場所 当法人フリースペース他

- ・従事者員数 4名 (島田、石井、伊藤、原)
- ・対象者 不登校の児童・生徒及びひきこもりの若者 15名 延べ150名
- ・支出額 786,096円

(2) 不登校及びひきこもりの子ども・若者とその家族に対する支援活動

ア) 働きたい若者たちへの就労支援事業

- ・内容 若者が一般社会において必要な知識、経験を積むことを目的として、受け入れる準備をした。
- ・日時 通年
- ・場所 当法人フリースペース・はるかぜ書店
- ・従事者員数 3名 (島田、石井、伊藤)
- ・対象者 ひきこもりの若者0名 延べ0名
- ・支出額 101,658円

イ) 不登校及びひきこもりの子どもを持つ親たちへの支援事業

- ・内容 不登校・ひきこもりの親、家族を対象に家族会を行った。
- ・日時 4/12, 7/12, 8/9, 9/13, 11/8, 12/13, 1/10, 2/14, 3/14
- ・場所 当法人フリースペース
- ・従事者員数 1名 (島田)
- ・対象者 不登校・ひきこもりの親、家族12名 延べ28名
- ・支出額 100,000円

(3) 子ども・若者の学習の支援活動

ア) 子ども・若者の学習不安への支援活動

・内容

不登校、障害等、生活保護受給世帯、学習不安を抱く子ども・若者に安心して学べる機会を提供した。学校の授業の補習、定期試験対策、高校受験対策、高卒認定受験対策、大学受験対策を行った。また、利用者全員がオンラインで学べるよう環境を整えた。

中学3年生6名全員が高校へ進学した。高校3年生3名が大学に進学し、1名が就職した。高卒生1名が専門学校へ進学した。

神奈川県立横須賀南高校、同横須賀工業高校、横須賀市立横須賀総合高校と連携会議を行った。

横須賀市生活福祉課より受託した「社会的居場所づくり事業」他を活用し、中学3年生5名、中学2年生4名、中学1年生1名、小学生2名、高校3年生3名、高校2年生3名、高校1年生5名、高卒生1名、高校中退者等1名を受け入れた。

- ・日時 通年
- ・場所 当法人学習スペース
- ・従事者員数 11名 (島田、石井、伊藤、非常勤職員5名、ボランティア3名)
- ・対象者 学習に不安を抱いている生徒・若者 30名 延べ608名
- ・支出額 6,520,125円

イ) 不登校・進路情報相談会への参加

- ・内容

神奈川県・横須賀市の教育委員会が主催する学校・フリースクール等連携協議会及び不登校相談会・進路情報説明会、鎌倉市教育委員会が主催する鎌倉市児童連絡協議会に参加した。

特に神奈川県学校・フリースクール等連携協議会においては企画委員として参画した。

- ・日時 4/22 5/2 5/26 6/7 6/21 9/3 10/4 11/27 1/20 1/24 2/10

- ・場所 当法人事務室、横須賀市役所、横須賀市総合福祉会館、神奈川県庁、神奈川県総合教育センター、鎌倉市福祉センター、神奈川県立青少年センター

- ・従事者員数 1名（島田）

- ・対象者 正会員及び一般市民 延べ900名

- ・支出額 100,000円

(4) 子ども・若者とその家族・教育関係者・学生・市民の交流の機会及び場の提供

- ・内容 当法人の活動の一端を担うボランティアを受け入れた。29名のボランティアが1年を通じて各事業に参画した。

- ・日時 通年

- ・場所 当法人フリースペース、はるかぜ書店ほか

- ・従事者員数 3名（島田、石井、伊藤）

- ・対象者 正会員及び一般市民 29名 延べ865名

- ・支出額 250,000円

(5) 教育や不登校・ひきこもりに関する相談及び情報提供

- ・内容

当法人の活動を活かした実践的な経験に基づく相談を行うとともに、相談員を配置し専門的な視点からの相談も実施した。オンラインでも対応できるよう環境を整えた。今年度から開始した地域青少年相談窓口事業（葉山）では葉山町教育研究所内において相談員2名がひきこもりの相談を受けた。

- ・日時 通年

- ・場所 当法人相談スペース、事務室、葉山町教育研究所

- ・従事者員数 4名（島田、石井、伊藤、非常勤職員1名）

- ・対象者 正会員及び教育・子ども等について悩みを持つ人々 23名 延べ35名

- ・支出額 435,551円

(6) 他の市民活動団体との交流活動

- ・内容

横須賀市等のNPO及び任意団体と交流を行った。

横須賀市域の商店街活性化に尽力した。上町商盛会の活動（灯ろう夜市、秋の大収穫祭、梅まつり他）に協力した。横須賀市市民活動サポートセンター主催のたろんフェスティバルに参加した。

- ・日時 通年

- ・場所 当法人内、横須賀市内

- ・従事者員数 13名（島田、石井、伊藤、ボランティア10名）

- ・対象者 NPO法人及び任意団体、一般市民 3,000 名
- ・支出額 100,000 円

(7) 教育・不登校・ひきこもり等についてのシンポジウム・講演会の企画運営

- ・内容 不登校についての情報発信を行っている蓑田雅之氏を招き、不登校の理解・啓発を行う講演会を開催した。
- ・日時 6/15
- ・場所 久里浜コミュニティセンター集会室
- ・従事者員数 1 名（島田）
- ・対象者 200 名
- ・支出額 50,000 円

(8) 就労を目指す若者に対する支援活動

- ・内容
ひきこもりの若者たちの就労支援研修の場を運営した。
地域お助けサービスでは、印刷物製作、清掃、運搬等の作業を行った。
- ・日時 通年
- ・場所 当法人店舗スペース、上町商店街、横須賀市内
- ・従事者員数 5 名（島田、石井、伊藤、ボランティア 2 名）
- ・対象者 正会員及び一般市民 100 名 延べ 750 名
- ・支出額 718,616 円

(9) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

- ・内容
不登校・ひきこもり等に関する講演会や学習会等に講師を派遣し、課題に対する理解を促した。
YMCA、関東学院大学、生活支援分科会、神奈川子ども未来ファンド、NPO 法人横須賀こころの電話、河童座にて実施した。
また、神奈川県子ども・若者支援連携会議、横須賀市青少年自立支援関係機関連絡会議、神奈川県立横須賀南高校学校運営協議会、横須賀市支援教育推進委員会、横浜市子ども若者支援協議会、横須賀市ひきこもり支援連携協議会に参加した。
- ・日時 通年
- ・場所 神奈川県庁、神奈川県横須賀合同庁舎、神奈川県立青少年センター、横須賀市産業交流プラザ、横須賀市総合福祉会館、横須賀市役所、神奈川県立横須賀南高等学校、横浜市青少年育成センター、横須賀市生涯学習センター、横浜市役所、横須賀市保健所、神奈川子ども未来ファンド
- ・従事者員数 1 名（島田）
- ・対象者 市民・学生 400 名
- ・支出額 201,563 円